

東日本大震災の肢体不自由校の被災状況

平成 23 年 3 月 11 日(金)の午後 2 時 46 分頃、宮城県の三陸沖においてマグニチュード 9.0 の大地震がおきました。連日、大変な被災であることが報じられています。地震被害、地震による津波の恐ろしさをあらためて痛感しました、東北方面の子ども達が心配でしたが、ここ数日の内に無事が確認できてホッとしています。被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

以下、文部科学省の下山調査官を通して得た被災地にある肢体不自由の特別支援学校の状況をお知らせします。

< 福島県 >

福島県には、沿岸部のいわき市と郡山市に学校があります。両校とも児童生徒と職員の無事を確認できました。自宅が倒壊した方、津波による被災にあった方もいるとのこと。

また、いわき市の学校は福島原発からも 40 キロ程度のため、今後の動向も心配されるとのこと。

郡山市の学校は、避難所になっており、同校の子どもの一部を含め 200 名程度が避難生活を送っており、先生たちがその対応に当たっているそうです。

< 宮城県 >

仙台市郊外と仙台市の南部に 2 校ありますが、児童生徒、職員の無事は確認されています。

仙台市の南部にある学校では、校舎の損壊が結構見られるようです。

< 茨城県 >

水戸市内の学校は児童生徒、職員は無事を確認、校舎は天井落下、ガラス破損有り。

< 岩手県 >

盛岡市の学校は特に被害無し。

< 青森県 >

八戸市の学校は児童生徒、職員は無事。校舎の一部に破損有り。

いずれの地域でもガソリン不足が深刻です。また、福島県では日用品の入手が難しい状況もあるようです。

平成 23 年 3 月 16 日確認情報

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会 会 長 濱川 浩子
事務局長 佐竹 京子